

## 城下町と仏の里を行進

県内行進10日目(7月11日)、今日は城下町・杵築からの出発、降り続く雨の中での出発式を終え白壁の続く城下町の風情を残す町並みを行進。雨のためか人通りも少なく、表を閉じた商店も目立つ。アパートにも空き室が見られ、不況の世相を映し出していました。杵築は、昨年秋からのキャノンなどの「派遣切り」の影響を最初に受けた町です。市役所には「杵築藩 藩庁」と大書した布の幕が飾ってあり、「城下町・杵築」のイメージを押し出そうとする意欲がみえました。

仏の里・国東での平和行進は初めてでした。これまで日程と地理的關係で「避けて」きたのかもしれませんが。今年県実行委員会で「行進通過自治体を増やそう」との提案で決まったものです。初めてでしたが地元の実行委員会の案内で、かつては栄えていたであろうと思われる町並みを行進しました。町のあちこちに仏像や五輪塔など見うけられ、仏教文化の名残を止めていました。行進終了後地元の代表から「初めて行進が来てくれてありがとうございます。来年も必ず来てください」と挨拶がありました。国東も最後まで雨。

昨年久し振りに行進した竹田、豊後大野でも「来年も来てください」と言われましたが、平和行進はどこでも「来ること」が待たれているのだとつくづく感じました。

## 「昭和の町」は今年も晴れ

国東半島を越える頃から天気が回復し、豊後高田の行進を始める14時30分には暑い日ざしが戻ってきました。レトロが売りものの「昭和の町」も天候のためか観光客も多くはありませんでしたが、店の中から出てきて激励されました。署名も15筆集まりました。

## 観光客に歓迎され一緒に行進

行進11日目(7月12日)、観光と温泉の町、湯布院町での行進。天気は朝から晴れ。湯布院の行進はいつも日曜日のため家族連れの参加者が多く、行進もにぎやかになります。今年は親子3代での参加もありました。今年は不況の影響からか天気のいい日曜日にしては観光客も少なめで、観光客の間を縫って歩くようなこともなく、いつもより楽に行進出来ました。それでも観光客の反応はよく、声をかけてくれたり手を振って激励してくれました。中には「一緒に歩こうかと」とついてくる人もありました。平和行進を知ってる人もいて激励してくれます。

- 7月14日(火)の日程・ ・ 10時、市民病院発～市役所まで、  
11時、市役所訪問  
11時30分、市役所から山国川まで行進  
12時、山国川福岡県側河川敷で福岡に引継ぎ